

生活困窮者支援における就労支援

生活困窮者の多くは、多様で複合的な課題を抱え、自尊感情や自己有用感を喪失している。

このため、本制度における就労支援は、

- ①常に本人を起点とし、
 - ②就労の意義への理解の支援から、生活面や福祉面での支援までも含めた、包括的な支援の一環として展開する。
 - ③本人の状態に合わせ、必要に応じてステップアップも意識しながら支援する。
- ⇒ 支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践する。

<p><u>丁寧な相談支援</u></p> <p>“きちんと”</p>	<p>【 】① 包括的な相談受付、アセスメント、プラン作成</p> <p>【 】② 信頼関係の構築と自尊感情、自己有用感の回復 に向けた支援</p> <p>【 】③ スtrenグスに着目した支援</p> <p>【 】④ 就労意欲の喚起</p>
<p><u>チームによる支援</u></p> <p>“みんなで”</p>	<p>【 】⑤ 主任相談支援員・相談支援員・就労支援員の 協働</p> <p>【 】⑥ 就労準備支援事業等との一体的支援</p> <p>【 】⑦ ハローワークその他の関係機関・者との協働</p>
<p><u>切れ目のない支援</u></p> <p>“ずっと”</p>	<p>【 】⑧ アウトリーチによる発見・支援</p> <p>【 】⑨ 多様なプログラムの用意</p> <p>【 】⑩ 個別のニーズに応じた職業紹介</p> <p>【 】⑪ 定着支援と企業支援</p>
<p><u>社会資源の活用と 開発</u></p> <p>“つながる・つくる”</p>	<p>【 】⑫ 関係機関・者とのネットワークの構築</p> <p>【 】⑬ 企業との関係づくり</p> <p>【 】⑭ 中間的就労や実習場所等の開拓</p> <p>【 】⑮ 居場所づくり</p> <p>【 】⑯ 町おこし、地域づくり</p>

取り組んでいる→ ○ これから取り組みたい→ △ 特に重点的に取り組みたい→ ☆